

**令和元年度 事務事業総点検シート(1)**  
**[平成30年度事務事業]**

<b>一般会計</b>		<b>事務事業分類</b>	<b>詳細点検</b>
<b>事務事業名</b>	障害者(児)住宅改修費	<b>シート番号</b>	A 一般事務事業 11-157
<b>担当部署名</b>	健康福祉 局 障害福祉 部 障害者支援 課	<b>評価責任者(課長名)</b>	増田

**Ⅰ. 基本情報**

<b>基本情報</b>	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無	
	2	事業開始年度	昭和 47 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	障害者総合支援法第77条、堺市重度障害者等住宅改修費の給付に関する要綱				
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画				
5	事業実施の経緯	障害者自立支援法の制定に伴い、地域生活支援事業による住宅改修費の給付に再編された。平成25年4月以降は、障害者総合支援法に基づき実施している。					

**Ⅱ. 事業概要**

<b>事業概要</b>	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	65歳未満の方(40歳から64歳の特定疾病による介護保険対象者を除く)で以下のいずれかを所持し、住宅及び心身の状況により住宅改修が必要と認められる方 ○身体障害者手帳 1・2級 又は 下肢・体幹・脳原性移動機能障害3級 ○療育手帳 A				
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	在宅の重度障害者(児)が住み慣れた地域で自立し、安心して生活することができるよう、日常生活の基礎となる住宅の改善を促進し、及び生活の利便性を図る。				
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	対象者が居住の用に供している住宅の便所、浴室、玄関、廊下、階段、台所、居室等の改修工事に係る経費を給付する。				
	10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 扶助費 ) 改修工事を行った業者				

**Ⅲ. 投入量**

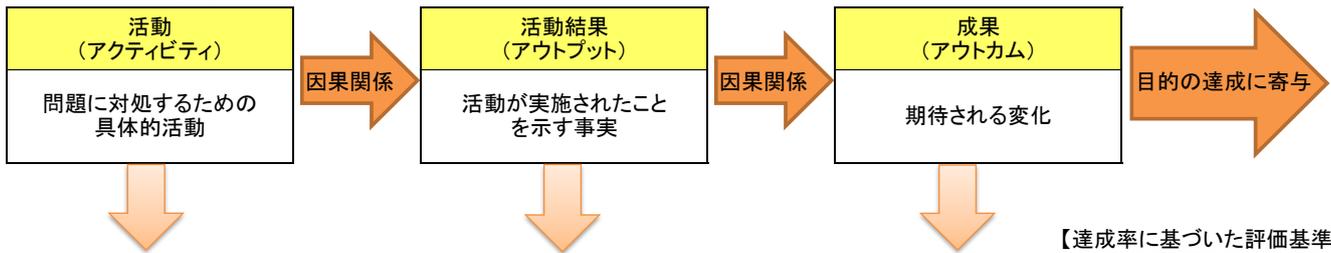
	項 目	単 位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
<b>事業コスト</b>	11 事業費 (a)	千円	7,665	8,766	8,343	9,401	
	主な事業費内訳	扶助費	千円	7,665	8,766	8,343	9,401
			千円				
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他( )	千円				
	一般財源	千円	7,665	8,766	8,343	9,401	
12	人件費 (b)	千円	820	820	820	810	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	8,485	9,586	9,163	10,211	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	障害者(児)住宅改修費	シート番号	11-157
-------	-------------	-------	--------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)

#### ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	<p>在宅の重度障害者(児)が住み慣れた地域で自立し、安心して生活することができるよう、平成30年度においても、対象者が居住の用に供している住宅の便所、浴室、玄関、廊下、階段、台所、居室等の改修工事に係る経費を給付した。平成30年度における住宅改修費給付額は8,343千円、給付件数は27件であった。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		住宅改修費給付額	千円	目標値	-	-	-	-
				実績値	7,665	8,766	8,343	-
				達成率	-	-	-	-
	評価			-	-	-	-	
	算出方法・設定根拠など		<small>本事業は障害者等の負担軽減を図るために実施している制度であり、要件を充足すれば支給対象となり、事業の性質上、数値化した目標の設定は困難であるため、目標値の設定はしない。</small>					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		住宅改修費給付件数	件	目標値	-	-	-	-
				実績値	24	25	27	-
達成率				-	-	-	-	
評価	-			-	-	-		
算出方法・設定根拠など		<small>本事業は障害者等の負担軽減を図るために実施している制度であり、要件を充足すれば支給対象となり、事業の性質上、数値化した目標の設定は困難であるため、目標値の設定はしない。</small>						

#### 業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>給付額及び給付件数ともに、ほぼ横ばいであり、変わらず一定のニーズがあるものと考えられる。</p>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。